

南信州広域連合第6回広域連合会議 結果報告

日時：平成29年9月15日(金) 16:15～17:20

場所：県飯田合同庁舎301号会議室(講堂)

1 開 会…16:15

【出席者】13市町村長、大鹿副村長

〔南信州地域振興局〕山本局長・布山副局長・山下商工観光課長

〔飯田建設事務所〕坂田事務所長

〔飯田保健福祉事務所〕田村副所長

〔町村会〕牛久保事務所長

〔飯田広域消防〕関島消防長・有賀総務課長

〔飯田環境センター〕田見事務局長・北原事務局長補佐兼庶務係長兼新焼却施設整備担当専門主査

〔事務局〕高田事務局長・塚平事務局次長・加藤事務局次長補佐兼庶務係長・秦野事務局次長補佐兼広域振興係長・秋山介護保険係長・林庶務係主事

2 広域連合長挨拶

9月の議会等でお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。これから台風が近づいて来るといふことで何かと気ぜわしい状況かと思う。気ぜわしいと言えば、朝いきなりJアラートが鳴ったという状況もあったが、いずれにしてもこの地域にとっての安心安全をしっかりと担っていかなければいけない、そういったことを思った。広域連合としては、リニア・三遠南信時代を見据え様々な課題に対応していかなければならないという立場であり、本日も様々な課題について協議出来ればと思う。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

3 協議・報告事項

(1) 日本版DMOについて

…資料No.1による説明(山下 南信州地域振興局商工観光課長)

以下、①から⑤について説明。

① 日本版DMOの定義 地域の中心となって観光をマネジメントする組織

② 役割及び機能

・観光地域づくりについての多様な関係者の合意のもと、各種データの継続的な収集及び分析、明確なコンセプトに基づいた戦略の策定、KPIの設定及びPDCAサイクルの確立。

・観光関連事業との戦略の整合性に関する調整、仕組み作り及びプロモーション。

③ 対象区域

・全国157団体、県内15団体(広域連携DMO1団体、地域連携DMO7団体、地域DMO7団体)

・管内地域連携DMO：(株)南信州観光公社 管内地域DMO：(株)阿智☆昼神観光局

④ 日本版DMOの必要性

・人口減少、少子高齢化への対応(地方再生)として、「観光」を解決の手段として位置付け、観光地をまわるだけではなく、地域住民と交流する「滞在交流型観光」が不可欠。

⑤ 観光における現状及び影響

・関係者の巻き込みが不十分で地域住民へ浸透していない。

・各種データの収集及び分析が不十分で民間的な手法の導入が必要。

【発言…深津 松川町長】

松川町も昨年の10月に「DMO松川観光局の立ち上げ準備室」を設けた。来年の4月を目指してやっている。何を目標としているのかが行政の場合は見えてこないため、民間の力を借りてやっていく組織が必要という思いからこの準備室を立ち上げた。

DMOが稼いで将来的に補助金頼みではなく自ら回していける組織作りをしなければならないことや行政と観光局との棲み分けをどうしていくかということが問題点として挙がっている。

20年前にTMOが全国的に立ち上がったが、今はほとんど潰れてしまっている。DMOが出来た時に、TMOと同じにならなければいいかと懸念している。

地に足をつけ、国からのバックアップがあるからといって、先を見失わないことが大事ではないか。

【質疑…熊谷 高森町長】

このDMOを南信州地域でこれから立ち上げるということですか？

【応答…高田 事務局長】

リニアを目指した地域づくりを目指した時に、広域的な観光振興は大事であり、その役割を担っていただくのは課題であるということは申し上げて来た。この地域には既に南信州観光公社という登録されたDMOがある。ただ体験教育旅行に軸足が置かれており、現在の人員の中では手一杯という状況。

観光公社を核としながら、これからの広域観光を担っていただけるようなDMOにしていくにはどうしたらいいのかということも含めての第一歩と捉えている。

【発言…深津 松川町長】

他の組織を新たに立ち上げるよりも、南信州観光公社を中心にしたほうがいいのかと思う。

【発言…熊谷 阿智村長】

一番問題になるのが財源。ステップアップするためにも人をしっかりと雇い、その財源は広域連合の中で少しでも予算を付けていただき、稼ぐ事ができれば何年後かに少なくしていくというようにしていないと。

【発言…深津 松川町長】

一番のネックは、自ら運営が出来るように持っていくこと。

【質疑…熊谷 高森町長】

南信州観光公社をグレードアップしていくというスケジュール感は？

【応答…高田 事務局長】

南信州観光公社の取締役会でもこれからの観光公社をどうしていくのかという議論がされているようだ。新聞で拝見したが、飯田観光協会も含めた法人化も議論されているようだ。我々としてもそうした情報をキャッチして、その議論に加わって行く必要があるのではないか。

【発言…山本 地域振興局長】

この地域においては、リニア時代を見据えて広域観光の推進は最重要課題と考えている。その中でも広域連携のDMOは必要であるということが共通認識ではないかと思う。南信州観光公社については、体験旅行にウエイトを置いた事業を展開しているので、観光地域づくりを戦略的に展開するような組織にはまだ至っていない。そうした認識を持っていただき、皆で広域的な組織を作るにはどうしていけばいいのかを検討していく場面によりやく辿り着いたと思っている。話し合いを進めて参りたい。

(2) 「学びの改革」に係る地域懇談会について

…資料No.2による説明（高田 事務局長）

「学びの改革」に係る地域懇談会（8月31日（木）18：30～20：40）の概要説明。

旧12通学区別中学校卒業予定者数の予測について、この地域は9区にあたる。今年3月の中学校の卒業生数は1,715人。2031年には1,264人で現在の74%まで下がるということであり、全県的な傾向である。このように中学校を卒業して高校へ行く子どもの数が減っているという実態がある。また、もう一つ指摘があったのは、非常に変化が激しい時代で今の詰め込み教育では太刀打ちが出来なくなるという危機感。教育の内容自体を変えていかなければならないということで、高校の再編についてどうしていくかという説明会であった。「都市部存立校」と「中山間地存立校」については、長野県内の公立高校を都市部にある高校と中山間地にある高校に分けて、それぞれの再編の考え方について整備するというものであった。この地域を見ると、都市部存立普通校が飯田高校と飯田風越高校。都市部存立専門校が、飯田OIDE長姫高校、下伊那農業高校。中山間地存立校が、松川高校、阿智高校、阿南高校。このように区分けされ再編の案が示された。再編基準として、都市部存立校（普通校）の望ましい学級数は6学級以上で、在籍生徒数が520人以下の状況が2年連続で続くと、他校との統合若しくは募集停止。都市部存立（専門校）の場合は、望ましい規模は3学級以上で、在籍生徒数が280人以下の状況が2年連続で続くと、他校との統合若しくは募集停止。中山間地存立校の再編基準については、3学級以上で在籍生徒数120人以下、若しくは在籍生徒数160人以下、かつ、卒業生の半数以上が入学している中学校がない状態が2年連続で続くと、他校との統合、地域キャンパス化、中山間地存立特定校の指定若しくは募集停止となる。

このような基準が示されたということは、この地域の高校の状況をしっかりと確認していくことが大事かと思う。今まで以上に気を配る必要がある。

【発言…牧野 広域連合長】

高校における学びの質をどう捉えるかということは、喫緊の課題として考えなければならない。特に我々の地域にとって、高校を卒業して8割方この地域を離れていくという現状を見たときに、その3年間で何を学んでもらうのかは大変重要である。県の教育委員会をお呼びし話を聞いても良いと思う。

【発言…山本 地域振興局長】

この場に説明に来ていただく必要があれば、要請したい。

(3) 信州大学航空機システム共同研究講座コンソーシアム役員会の報告について

…資料No.3による説明（高田 事務局長）

以下、①～③について報告。

- ① 役員の交代
- ② 平成28年度収支決算書及び事業報告
- ③ コンソーシアムへの会員募集

【質疑なし】

(4) 南部国道連絡会について

…資料4による説明（秦野 事務局次長補佐兼広域振興係長）

3点ご協議願いたい。

- ① 国会議員との意見交換会について
発表者を連合長にお願い出来ればと存ずる。
- ② 中部講堂協会の提言活動について
副連合長と土木振興会長にお願い出来ればと存ずる。
- ③ 南部国道連絡会に係る10月25日（水）の視察については、砂防関係の提言活動が実施されることから、視察は実施しない方向で進めさせていただきたい。

【質疑なし…承諾】

(5) 南信州いいむす21登録判定について

…資料No.5による説明（秦野 事務局次長補佐兼広域振興係長）

今回は、審査の結果、適合と認められた3件の登録をお認めいただきたい。区分につきましては上級2件、中級1件となっております。よろしく願い申し上げます。また、9月1日付けで泰阜村がいいむす21取り組み宣言をされ、初級に取り組んでおられることをご報告申し上げます。

【発言…牧野 広域連合長】

ご異議はございませんか？

【異議なし…承認】

(6) 飯田広域消防から

…資料6による説明（関島 消防長）

3月の防災ヘリの事故から6か月が経過した。県の防災ヘリについては、来年の4月から林野火災の対応再会に向けて検討されているところである。消防防災航空隊の在り方検討会が6月から発足し、作業部会が4回ほど開かれた。この作業部会の検討を受け、9月20日に在り方検討会が開かれ来年の方向性が示されるのではないかと思います。随時ご報告申し上げます。

台風18号については、17日の夜から18日と予想されている。広域消防としても万全の体制で対応して参りたい。18日に予定していた写生大会については延期させていただく。

【質疑…金田 下條村長】

下條で車両火災があり消防団も出動したが、油なので何も出来ない状況であった。化学消防隊の泡で消火するのか、小さい場合は水で冷やしていいのか教えていただきたい。

【応答…関島 消防長】

車両火災については、出来る限り泡の消火を心掛けるということで対応させていただく。車両によっては、泡を出すのに時間を要するものがある。龍江分署及び山本分署に配置してある車両については、すぐ泡が出せるキャブ型車両を配備している。

(7) 後援依頼について

…資料No.7による説明（加藤 事務局次長補佐兼庶務係長）

今回ご承認いただきたい案件は4件あり、既に承認済のもの2件についてもご報告申し上げます。

- ①「第35回伊那人形芝居公演」
- ②「歯と口の健康を守る郡市民大会」
- ③「長野県における航空機産業拡大フォーラム」
- ④「南信州阿智村コンサート vol. 8」
- ⑤「第2回みなみ信州駅伝・ロードレース大会」 承認済
- ⑥「下伊那砂防講演会」 承認済

【異議なし…承認】

4 長野県

●南信州地域振興局

…口頭による説明（山本 地域振興局長）

以下、①から③について説明。

① 南信州就活準備セミナー（8月23日）の実施状況について

大学2年生をターゲットにして、早い段階からこの地域の魅力や企業を知っていただくために今回初めて実施した。学生15名、企業10社11名が参加。

② 南信州プレミアム移住相談会を9月9日に開催。

③ 先月の19、20日に全線開通の80周年イベントを開催。80周年記念パンフレットを作成。

④ 6月25日に発生した木曾町を震源とする地震について、長野県南部で震度5という報道がされ観光客のキャンセルもあり、こうした表示についてなんとかならないかという要望があり、その旨を危機管理部に伝えた。危機管理部でも情報共有し、地震の名称を付ける際には注意するように再確認した。

8月には太田副知事の所へ行き、事情をお伝えした。

【質疑…なし】

●飯田建設事務所

…口頭による説明（坂田 飯田建設事務所長）

以下、①から②について説明。

① 県道飯田富山佐久間線の通行止めについて 10月14日に開通予定。

② 飯田東ICに係る国道256号の工事について、9月24日に開通予定。

【質疑なし】

●飯田保健福祉事務所

…口頭による説明（田村 飯田保健福祉事務所副所長）

O157は県全体で9月10日現在、84件の発生。十分注意されたい。

5 今後の日程について

10月2日（月） 下伊那砂防講演会（13時30分から シルクホテル）

10月16日（月） 広域連合会議（喬木村）

6 閉会…17:20